

様式第2号（8関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第3回ひたちなか市環境審議会	
開 催 日 時	令和7年12月16日（火） 14時00分～15時30分	
開 催 場 所	ひたちなか市役所第三分庁舎 防災会議室1, 2	
出 席 者	委員（者）氏名	小松崎委員，中原委員，森島委員，鎮目委員，市村委員，岩田委員，小林委員，柳生委員，吉田委員，川又委員，田所委員，小川委員
	担当部課職員職氏名	松本経済環境部長 植野環境政策課長 小澤環境政策課長補佐兼係長（環境政策担当） 高橋環境政策課係長（環境対策担当） 野尻環境政策課主任 押鴨環境政策課主事
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	令和7年度第3回ひたちなか市環境審議会 1 開会 2 あいさつ 3 審議事項 ・「ひたちなか市第3次環境基本計画改定素案」について ・答申について 4 その他 5 閉会	
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)		
傍 聴 者 の 数	0名	
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度第3回環境審議会次第 ・ 環境審議会委員名簿 ・ 説明資料 第3次環境基本計画の改定について ・ 市第3次環境基本計画 新旧対照表 ・ ひたちなか市第3次環境基本計画改定素案 ・ 答申書骨子 	
会 議 録 の 作 成 方 法	要約方式	
そ の 他		

審議内容（発言者，発言内容，審議経過，決定事項等）	
事務局	1 開会 前任委員の職務の退任による新委員への委嘱があったため報告した。（前任 中村 委員 新任 吉田 委員）
小松崎会長	2 あいさつ（会長）
事務局	3 審議事項 ・事務局より、「ひたちなか市第3次環境基本計画改定素案」について、前回からの主な変更点，修正点について資料に基づき説明を行った。質問や意見，提案等があり，全員一致で了承となった。内容は次のとおり。 （質問，意見，提案等）
市村委員	県においても，社会情勢の変化を踏まえ「生物多様性戦略」を見直し，ネイチャーポジティブや外来生物対策，30by30の目標などをアクションプランに取り入れている。本計画においても生物多様性や野生生物の保全，外来生物対策が盛り込まれるとのことなので，これらについて県と市が一緒になって，啓発活動等を行ってほしいと考えている。
事務局	生物多様性や外来種について市単独での専門家確保は難しいため，県の生物多様性センター等と相談・協力し，アライグマ対策や鳥インフルエンザ対応等を含めた協力体制を構築していきたい。
森島委員	計画内の「エコファーマー」推進について，制度自体が既に廃止・改選されている可能性がある。また，学校給食における有機農産物の活用についても，県内の他自治体の動向を踏まえ検討してほしい。
事務局	エコファーマー制度については，担当課と調整の上，現行制度に即した表現に修正する。また，学校給食における有機農産物の活用については，当市教

<p>森島委員</p>	<p>育委員会に確認の上、別途回答する。</p> <p>本計画のリーディングプロジェクト（地球温暖化対策）を「地球温暖化対策推進法」第21条第3項に基づく「区域施策編」として位置づけるとあるが、昨年度策定した独立した「区域施策編」との整合性はどのようになっているのか。二重の計画にならないよう、整理が必要ではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年度の「区域施策編」は単独の計画として冊子化した。環境基本計画の重点施策としても紐づけたいという意図がある。他の自治体の事例等調査し、適正な表現・位置づけになるよう精査したい。</p>
<p>市村委員</p>	<p>改定素案において、環境学習を単なる学びにとどめず、市民一人一人の具体的な行動体験や実践に繋げるための目標を新設した点は非常に良いと考える。</p> <p>フードロス対策に関しては、県では「ほしいも」の製造過程で生じる皮等の残渣を大規模に回収し、飼料や肥料に再利用する事業者への設備補助を実施している。こうした具体的な地域課題に即した活動についても、ぜひ取り組んでいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>フードロスについては来年度改定予定の「ごみ処理基本計画」に記載される予定だが、本計画でも関連性を追記する方向で検討する。</p>
<p>森島委員</p>	<p>リーディングプロジェクトの具体的な目標について伺いたい。環境配慮型ライフスタイルに関する指標が現状37%、2030年度目標50%とされているが、この数値は具体的にどのような内容何か、説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>当該目標値については本計画の改定にあたって実</p>

	<p>施したアンケートにおいては、環境に良い行動を「知っている」あるいは「実践している」と回答した層が37%であった。この層を2030年度までに、50%以上にすることが数値目標の主な内容になる。また、目標値達成状況等については、当課が所管する環境イベントでのアンケート結果を基に確認をしていきたい。また本計画案において、目標設定の背景やアンケートの詳細について記載がなかったため、本体資料へ追記することとしたい。</p>
森島委員	承知した。
事務局	<p>・事務局より、答申について、資料に基づき説明を行った。質問や意見、提案等があり、全員一致で了承となった。内容は次のとおり。 (質問、意見、提案等)</p>
森島委員	<p>答申書の内容について、項目を挙げるだけでなく、これまでの審議の中で委員から出された意見を含め、より内容を充実させたものにしてほしい。</p>
小松崎会長	<p>答申書について内容の充実等調整を会長、副会長、事務局で行い、答申書を作成していきたいと考える。よろしいか。</p>
各委員	承知した。
事務局	<p>正副会長および事務局において、今年度の審議会でいただいた委員の意見をまとめ、答申の作成を進めていく。また、この後に実施予定のパブリックコメントの結果も踏まえ、答申書(案)を作成し、正副会長に確認ののち、各委員の確認を経て最終的な答申書としたい。</p>
	4 その他

	<p>(質問, 意見, 提案, 連絡等)</p> <p>5 閉会</p>
<p>以上, 会議の内容に相違ないことを証明する。</p> <p style="text-align: right;">令和8年1月30日</p> <p style="text-align: center;">ひたちなか市環境審議会 会長 小松崎 秀人</p>	